

平成 23 年 10 月 13 日

～小学校の廃校を若者が大人になっていく場に～

(予告)豊島区、NPOと連携し若者向け「おとな大学」開校！ 10/16(日)池袋にて記念イベント開催

小学校の廃校を利用し、豊島区にて新しく始まる若者支援事業「おとな大学」の開校イベントとして「としま的若者支援 としまだからできることを語る、探す、創る！」と題し、基調講演とパネルディスカッションを開催します。フリーターの自由な生き方、ひきこもりの増加、超氷河期と呼ばれる就職難……多くのメディアで若者の問題が取り上げられています。しかし、その裏側にある「なぜ若者は生きづらいのか」といった議論はあまり多くありません。そこで今回のイベントでは、若年層を取り巻く社会について語りあい、次の時代を担う若者をどのように地域で育てていくことができるのかを、これまでさまざまな形で若者支援、地域振興に携わってきたパネリストたちが徹底討論いたします。

おとな大学開校イベント

「としま的若者支援 としまだからできることを語る、探す、創る！」

日時:10月16日(日) 14:30～16:30(開場 14時) **参加費無料** (定員 50名)

場所:みらい館大明 (豊島区池袋 3-30-8/JR 池袋駅から徒歩 15分、有楽町線から徒歩 10分程度)

※ イベント当日の取材も可能です。詳細は下記問い合わせ先までご連絡ください。

第1部:基調講演 若者はなぜ「就職」できなくなったのか ～若者を取り巻く現実～

講師:児美川 孝一郎

1963年東京都生まれ 法政大学キャリアデザイン学部教授。現在、学部長。教育学・教育哲学を専門分野とし、現在の研究テーマは、青年期教育、キャリア教育。日本教育学会・日本キャリアデザイン学会等に所属。著書に『若者はなぜ「就職」できなくなったのか～生き抜くために知っておくべきこと～』『権利としてのキャリア教育』等。

第2部:パネルディスカッション 豊島区だからこそできる若者支援の形

パネリスト:

山本 繁 (NPO法人NEWVERY理事長。「若者たちが未来に希望を持てる社会」を創るために活動中。著書に「やりたいことがない奴は社会起業家になれ」(メディアファクトリー)ほか)

荘司 哲夫 (NPO 法人いけぶくろ大明理事、現在閉校した小学校を生涯学習施設として運営しているみらい館大明に立ち上げから参画、現在同館の副館長)

児美川 孝一郎 (法政大学キャリアデザイン学部教授。現在、学部長)

東澤 昭 (豊島区文化商工部長。フェスティバル/トーキョー11 副実行委員長)

<お申し込み方法> メールまたは FAX にてお申し込みください。

件名を「としま的若者支援 イベント参加希望」として、「お名前」「ご所属」「ご住所」「連絡先(TEL)」を明記の上、A0014606@city.toshima.lg.jp(豊島区)までお送りください。FAX の方は必要事項を明記の上、03-3981-1577(豊島区)へお送りください。 ※おとな大学サイト <http://www.otonadaigaku.com/event.html> からでもご応募いただけます。

・・・地域×若者×カルチャー「おとな大学」とは?・・・

2011年11月より、豊島区と区内の二つのNPO法人(いけぶくろ大明、NEWVERY)との協働で、今年度の新規事業として「若者支援事業」が始まります。この事業では、小学校の閉校施設を活用した生涯学習施設「みらい館大明」を拠点に、文化×地域という視点から若者がお互いに学びあいながら、自分自身に気づき、仲間と育ちあう場をとって「おとな大学」を開校いたします。*おとな大学は、学校教育法等で定める正規の大学ではありません。

WEBSITE:<http://www.otonadaigaku.com/top.html>

<プレスリリースに関するお問い合わせ> NPO 法人 NEWVERY

<主催> 豊島区、NPO法人いけぶくろ大明、NPO法人NEWVERY

平成 23 年 5 月 27 日

古本マンガで、若者の就労支援！

～マンガ・マンガ文化関連本の寄附募集～

豊島区は、NPO 法人「いけぶくろ大明」と NPO 法人「NEWVERY」と協働し、平成 23 年度中に「ブックカフェたいめい」を運営する準備を進めている。運営の予定場所は、「みらい館大明」。ここは、平成 17 年に閉校となった大明小学校の跡地活用として NPO 法人いけぶくろ大明が運営している。

「ブックカフェたいめい」では、古本販売、カフェ運営、イベント事業企画等より若者の居場所、ジョブトレーニング（就労訓練）の場や、学びの場を創出する。

豊島区は不要になったマンガ本を活用し、若者の就労支援等につなげようと、広く一般から寄附を募っている。担当者は、「マンガ本を寄付してもらうことが、身近な社会貢献につながるので、この機会が皆さんの家で眠っているものをいかすきっかけになればと思う。」と呼びかける。

寄附の対象となるのは、マンガ本以外にマンガ文化に関するもの、いわゆるサブカルチャーと呼ばれるものも含まれる。

マンガ・マンガ文化関連本寄附募集要項

1. 公序良俗に反するもの及び成人指定のものは除きます。
2. 寄贈された本は返却しません。またその本の扱いについては、運営主体にご一任ください。
3. 寄贈にかかる送料・交通費等をご負担ください。
4. 寄贈された本は、若者支援のために若者によって販売され、その販売益を若者の居場所づくり、学び場づくり、働く場づくりに役立てます。

受付窓口

1. みらい館大明（住所：池袋 3-30-8 電話：03-3986-7186）
（休館日：年末年始 開館時間：午前 9 時 30 分～午後 8 時 30 分）
2. 豊島区学習・スポーツ課
（休庁日：土・日曜日、祝日、年末年始 受付時間：午前 9 時～午後 5 時）

問い合わせ： 学習・スポーツ課